



のっぽの手

- 2015 年度通常総会開催報告
- チャレンジインターンシップ事業
- 市民活動助成金募集開始!

2015 年度通常総会及び助成金報告会開催 『新体制で迎える16年目』

ふくしまNPOネットワークセンター 常務理事 菅野 真

7月18日土曜日に通常総会が開催され、16年目を迎えた当センターの新たな年度がスタートを切りました。役員改選時期にあたり星野珙二理事長と佐藤和子副理事長が退任され、新たに理事長に牧田実常務理事、副理事長に作田謙太郎理事が理事の互選により新任されました。私、菅野も常務理事を拝命し、再任の齋藤美佐常務理事を含めた新しい三役体制で、16年目を迎えるも完成形に至らないセンターの課題を解決し発展させるべく取り組んでいきたいと思ひます。

今年度の事業は昨年度から引き継いでいる事業の他に、ふくしま地域活動団体サポートセンターで「チャレンジインターンシップ」若者の学び・体験支援事業を受託し、当センターの復興の一翼となる事業が増えました。また、福島市市民活動サポートセンターも指定管理者として2年目を迎え更なる充実した運営を求められていて、ふくしま情報ステーションは新所長を迎え新たな体制で地域情報

の丁寧な受発信に努めています。その他、市民活動フェスティバルの運営や15周年記念誌の発行などにも取り組んでまいります。

また、通常総会の前に昨年度のふくしま元気市民活動助成金の活動報告会があり「公益社団法人だて青年会議所」「ふくしまの旧家を活かす会」「三島町宮下地区」の3団体から報告いただきました。3団体ともに一過性に終わる活動でなく次につながる有意義な活動をされていて、のっぽ基金助成金も含めて中間支援NPOとして更なる支援の機会を増やすことに積極的な検討を重ねていきたいと感じました。

新しい三役体制に加え今年度から3名の理事が新任されました。新たな理事会体制のもと、スタッフ一同、中間支援NPOとしてのミッションを忘れずに活動していきたいと思ひます。今後とも皆様のご理解とご協力を宜しくお願ひいたします。



出席した会員の皆さんに、理事長退任の挨拶をする星野理事



3団体の代表者の方による事業報告



福島銀行の吉田さんより助成金についてのお話を伺った



新理事長の挨拶

ふくしまNPOネットワークセンター理事長 牧田 実

ふくしまNPOネットワークセンターは、2015年8月に設立15周年を迎えました。この記念すべき年に理事長の大役をお引き受けすることになりました。当センターの前身は、福島大学の有志と在野の市民活動家が立ち上げた「福島地域づくりの会」にあり、私も、福大に着任した1995年から末席を汚していました。NPO法人となってからはしばらくブランクがあり、誘われて理事になったのは2006年のことでした。このたびは創立期から組織を支えてくださった先輩諸氏が執行部を去り、世代交代ということになりました。

組織も業務も設立時とは比べものにならないくらい大きくなりました。中間支援センターとして、

ふくしま地域活動団体サポートセンター(サポセン)と福島市市民活動サポートセンター(ふくサポ)の運営を中心としつつも、ふくしま情報ステーションのさらなる活用も考えていかねばなりません。これからの15年を展望するには、自主事業の新たな展開も課題となるでしょう。いまあらためて中間支援組織としてのミッションを見つめ直し、組織基盤の強化にも取り組みたいと思います。

とはいえ、楽しくなければNPOとはいえません。理事も職員も会員諸氏も、みんなが笑顔になれるような組織でありたいと思います。私も三役とともに微力を尽くしますので、いっそうのご支援をよろしくお願い申し上げます。

チャレンジインターンシップ

～進捗状況報告～

『チャレンジインターンシップ』若者の学び・体験支援事業では、7月25日から9月19日までの間、県内の高校生・大学生を対象とした、NPO法人でのインターンシップが実施されました。インターンシップでは、それぞれの分野で復興に向けて活動しているNPO法人で、実際にスタッフの一員として団体の活動を体験します。初年度の今回は、県内の高校に通う高校生10名と、県内出身または県内大学に通う大学生11名の、合わせて21名の実習生が活動を行いました。

市民活動支援組織
NPOでの活動の
ようす



開校式での
実習生たち
の笑顔

活動の実施に先立ち、7月21日(火)ビッグアイ(郡山市)にて開講式が開催されました。開講式では、受入れ団体の皆様からは団体としての復興への思いが、実習生の皆様からは自分の将来や郷土福島に対する思いなどが語られました。

活動は、それぞれ夏休み期間中の7日間、県内各地域の受入れ団体として選定されたNPO法人で行われました。受入れ団体の活動分野は子ども支援やまちづくりなどさまざまですが、それぞれの視点から復興に向けて活動されています。実習生は団体での活動をとおして、多くの学びや気づきを得られたようです。それぞれの活動のようすや実習生によるコメントは、当事業のホームページ(<http://f-intern.f-saposen.jp/>)でご覧いただくことができます。

また、11月14日(土)にミュールがくと館(郡山市)にて、当事業の活動報告会・閉講式を開催します。どなたでもご参加いただけますので、詳しくはチャレンジインターンシップ事務局までお問い合わせください。

(報告:ふくしま地域活動団体サポートセンター

担当 山崎 友也)

「ソシモ論」から学ぶ話題になる企画の立て方

～共感創造力で、世界を動かせ！～

8月22日(土)福島市市民活動サポートセンターにて、平成27年度福島市委託事業ふくサポオープンセミナー(講演会)「『ソシモ論』から学ぶ話題になる企画の立て方～共感創造力で世界を動かせ！～」を開催しました。

【ソシモ】とはソーシャル・モチベーションの略で、「社会にとってためになることを考え、行動しよう!」ということ。講師の山名清隆さんは、群馬県嬬恋村の「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ」や「ミズベリング」など、面白くてワクワクするようなプロジェクトで各地に社会現象を巻き起こしているソーシャルコンテンツプロデューサーです。

開催当日は、30名を越す参加者があり、iPadを片手にラフなスタイルで話される山名さんの楽しいおしゃべりに、何度も大きな笑い声が起るなど、会場は終始和やかな雰囲気でした。山名さんは、これまでに手がけたプロジェクトの例を交えながら、「視点を変えれば世の中はユニークにあふれている」「公共事業は交響事業」「重そうなことを軽快に、硬そうなことは柔軟に、古そうな

ことほど新鮮に」などお話しになり、今まで気づかなかったモノの見方や考え方そしてその行動の起こし方に、参加されたみなさんが大きく頷く場面も多々ありました。

終了後のアンケートには「とてもいい話が聞けた。これからの活動に役立てたい」など前向きな声がたくさんあり、今後の市民活動への取り組みにも良い効果が期待できるセミナーとなりました。

(報告:福島市市民活動サポートセンター

担当 後藤一光)



講師の山名さんのお話を興味深く聞く参加者の皆さん



2015ふくしま元気市民活動助成金 対象活動募集!

当センターが認定NPO法人として認定されたことを記念して創設した「ふくしま元気市民活動助成金」の募集も今年で7年目となりました。また、運営をお手伝いして一緒に募集をする

福島銀行「ふくぎんみんなのサポート市民活動助成金」は4年目となります。

福島県内全域を募集対象とし、最近では毎年20件程度の応募を頂くまで認知されてきている様で、今年からは「ふくぎんみんなのサポート

市民活動助成金」の助成事業数が3事業から5事業へ増えることとなりました。

震災の復興需要が収まる方向へ進んでいく中で、元気市民活動助成金の果たす役割は重要性を増すことと思われます。福島県内の各NPO法人はもとより、福島銀行さんはじめ各金融機関、各団体との連携を更に深め、中間NPOとしての元気市民活動助成金の意義を改めて確認し、今後も募集をしていく所存です。

この助成金は、皆様からの寄付が財源となっていることもあり、更なるご支援を賜りたくお願いを申し上げます。

(報告:ふくしまNPOネットワークセンター

常務理事 菅野 真)



◆新理事紹介◆

●小島 衛

福島大学の小島です。経済学、地域経済を専門として、最近では川内村や磐梯熱海温泉の街づくりを学生とともに進めております。地域から学ぶこと、内発的な地域の活性化を心がけています。漁協のような古い公共を中心に研究調査を進めてきましたが、新しい公共＝NPOのほうは初心者です。山川・清水・星野さんから先人の手をわずらわせつつ、頑張りますのでよろしくお願い致します。

●福地 雅人

この度理事に就任いたしました福地雅人です。仕事はパセオ通りにあります「パセナカ Misse」の管理運営をしております。(株)仲見世の代表です。NPOとしては「ドリームサポート福島」「ストリート福島」の会員で、それぞれの副理事長を務めてあります。仕事から中心市街地の活性化に興味があり、イベントが好きで様々なものに関わらせていただいております。今年で満56才となり、体力が落ちてきていると感じる事も多くなっておりますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

●吉川 隆一

2015年度より理事に承認頂きました、福島ネオ工業(株)取締役営業部長の吉川隆一と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。ふくしまNPOネットワークセンターの活動として、ふくしまの元気のために活動している団体を応援することが目的であり、私も理事として自分が今まで経験してきたことを生かし、皆様と一緒に(協働)ふくしまの真の復興に寄与出来るよう「一歩前へ出る勇氣」を持って、微力ではありますが精一杯活動していきます。

—福島県より受託、運営している施設—

●ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島市中町 8-2 福島県自治会館 7F
TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741
URL <http://www.f-npo.jp/saposen/>
E-mail saposen@f-npo.jp

—福島市の指定管理制度で運営している施設—

●福島市市民活動サポートセンター

〒960-8041 福島市大町 4-15 チェンバおおまち3F
TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560
URL <http://www.f-ssc.jp>
E-mail f-ssc@bz01.plala.or.jp

—福島市より受託、運営している施設—

●まちなか 情報ステーション

〒960-8053 福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま 1F
TEL 024-525-4020 FAX 024-525-4027
URL <http://www.machi-fukushima.jp>
E-mail info@machi-fukushima.jp

◆講座のご案内◆

NPOマネジメント講座

『社会を動かす！パブリックスピーキング』

パブリックスピーキングは、リーダーに求められる「人を動かすためのコミュニケーション術」です。

「人はどうしたら共感し、行動してくれるのか？」多くの企業の経営者や管理職、政治家、NPO代表などのリーダー層を対象に、講演、記者会見、会議、朝礼、結婚式の祝辞まで、幅広くアドバイスをしてきた講師が講義します。

○日時：10月24日(土) 13:30～15:30

○会場：福島市市民活動サポートセンター会議室

○講師：蔭山 洋介 氏 (株式会社コムニス代表取締役 スピーチライター)

○定員：30名程度

○参加費：無料

○申込・問合せ

福島市市民活動サポートセンター ☎ 526-4533

★事務所移転のお知らせ★

10月6日より、下記の住所に事務所が移転することになりました。併せて電話番号も変わることになりますので、よろしくお願いいたします。

〒960-8068

福島市太田町 12-30 マルベリービル6階

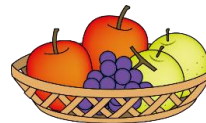
TEL 024-572-7930

FAX 024-572-7931

◆編集後記◆

◆引越し準備で忙しい毎日です。ご不便をかけることもありますが、ご協力をお願いいたします。(根本)

◆久しぶりに西口に戻って来ます。通勤時間が更に短縮です。せめて運動のために歩こうかな。(大山)



◆すっきりしない天気が多いですが、季節の変わり目ですし体調管理に気を付けたいです。(古屋)



●編集・発行

認定特定非営利活動法人

ふくしま NPO ネットワークセンター

〒960-8034 福島市置賜町 1-29 佐平ビル 8F

TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218

E-mail center@f-npo.jp URL <http://www.f-npo.jp/>

